

かほく市図書館 友の会だより

発行日 2014年11月25日

発行者 かほく市図書館友の会

〒929-1173 かほく市遠塚口57-6 かほく市立中央図書館内

第8号



かほく市生涯学習フェスティバル 図書館まつり

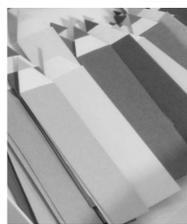
第1回 わくわく紙しばいカーニバル大成功!

11月1日(土)10:00~11:00に、中央図書館1階 『おはなしのへや』で、図書館友の会“紙しばい部会”のメンバーによる紙しばいカーニバルが開かれました。

抱っこのお赤ちゃんから、85才のおばあちゃんまで、たくさんの家族連れの皆さん、延べ40人のお客様をお迎えしました。

かわいらしい幼児向き、大舞台を使った日本昔話、世界の名作など、いろいろなタイプの紙しばいを楽しみました。英語版や参加型の時には、お子さんたちの笑顔と元気な声が、お部屋にあふれました。

最後に、手づくりの菓をプレゼント。「楽しかったね。」と帰る皆さんのにこやかないお顔をみて、メンバーも嬉しい気持ちいっぱいになりました。ありがとうございました。(S)



おい、こら、まてえ〜!

プログラム

♪~ これくらいの お弁当箱に ~♪

1. おむすびくん
2. だんごむしのころちゃん
3. むしむしかくれんぼ
4. たべられたやまんぼ
5. おおきく おおきく おおきくなあれ
6. GROW GROW GROW BIGGER

♪~ からだにいいのは レモン汁 ~♪

7. しあわせの王子
8. まんまるまんま たんたかたん
9. だるまこたつ



あたり〜、てんとうむし〜!

友の会の歩みパネル展示

「図書館まつり」の機会に“図書館友の会”を多くの市民のみなさんに知っていただきたいと、『友の会の歩み』と題して、友の会の行事写真(説明付き)と友の会だより全号を掲示しました。

古本市

寄付していただいた本がたくさん売れました。ありがとう!

11月1日(土)・2日(日)の2日間にわたり、図書館主催の古本市に友の会として協力しました。



早くも3年目。

第3回 図書館見学会



小松市「空とこども絵本館」へ!!

～宮本三郎美術館・本陣記念美術館、こまつ町家文庫見学も!～

9月18日木曜日、図書館松本係長にも参加していただき、総勢24名で平成26年度の図書館見学会が行われました。



開館9年目の空とこども絵本館。尾木沢館長の説明の後、絵本館で出版した2冊の民話絵本の中から、「ちょうちんぶちのかっぱ たらいぶちのかっぱ」の読み聞かせをしていただく。

子どもが気兼ねなく読める環境に改修された館内。幼児が本に触れていく「ブックスタート」を受け持ち、学校図書館へとつなぐ役割を担っている。



宮本三郎美術館、本陣美術館、絵本館ホール19番館の3館を巡り、「生誕120年武井武雄の世界展」を満喫。「コドモノクニ」「キンダーブック」など児童向け雑誌で「こどもの心に触れる絵」をめざした方。大人の心も揺さぶる、古いけど新しい感覚の絵がいっぱい!



こまつ町家認定の「安穩あんのん」でランチ。手作りのお弁当。おいしかった!



ポイント制を取り入れた本の交換所である町家文庫。若いお二人が運営の中心。難しい事も多いようで、現在は月1回不定期で行っている。私たちの訪問に合わせて、カフェも開いて下さった。

参加者の声

中村 八重子さん

中央図書館を9時に出発し、一路小松に向かいました。いつもお会いしているメンバーで、バスの中では和気あいあい。友の会会員で消費生活センターの方から、詐欺被害に遭わないための話をお聞きしました。事案があまりにも多く、自分だけが大丈夫とは限らないと改めて実感しました。

そうこうしているうちに、バスが小松の町中に入り、空とこども絵本館に着きました。これが図書館かと思う

ほどのゆったりした空間に柔らかな空気が漂う中、たくさんの絵本が並んでいました。古い警察署を利用したとは思いませんでした。絵本を手にとって読んでみて、自分には子どもと一緒に本を読み合うこんな日々があったかなあと、ちょっとうらやましく思いました。全ての子どもたちに、こんな環境で過ごさせたいと思うと共に小松市の取り組みに感動しました。

古い街並みが残る古民家での食事や、町家文庫の取り組みなどにも感心しながら、帰路につきました。

第5回 友の会の集い



☆グランドサークルの旅から ~ページ市立図書館~ ☆読書日記とわたし

最初予定していた8月10日は、開会の2時頃に台風の風が強くなるという情報が入り、急遽8月31日に変更しました。出席の返事をいただいていた方と、返信のコメント欄に、日が変われば出られそうと書いてあった方に電話で対応しました。発会以来初めてのことで困惑しましたが、今後もこういう対処の仕方で行きたいと思えます。ご了承下さい。

何人集まるかと心配していましたが、22名の方が参加して下さいました。

今回は2部形式で行いました。

1部では、皇名代表が、アメリカのグランドサークル（パウエル湖を中心とした円の中にあるエリア）の旅行中に立ち寄った、「ページ市立図書館」について、スライドを交えて紹介しました。ブライスカニオンやアンテロープキャニオンなどの国立公園やセドナなどについても話を聞きました。



興味深く報告に聞き入る皆さん

2部では、自分なりの読書記録について語り合いました。図書館配布の読書日記を工夫して使っている方、貸し出しレシートを張っている方、若い頃からノートに記録を続けている方など、いろんな読書の足跡の残し方について様々に交流しました。

館長さんから紹介していただいた読書日記小学生用（学校で配布）は、大人も使いたいという声があがりました。また1さんの、本を買ったつもり・体験したつもの節約術は、多くの人の賛同を得ました。最近まで「読書日記」のノートを、図書館から貰えるということを知らなかった人もいました。100冊分記録できる「読書日記」は、カウンターで貰えます。ご存じなかった方は、是非カウンターで申し出てみて下さい。



ふんふん、なるほど～！



■参加者の声

山名田 富志江さん

8月31日（日）「第5回友の会の集い」が行われました。台風のため変更されての開催でしたが、多くの方の参加で、和気あいあいと楽しい時を過ごすことができました。

1部の「グランドサークルの旅から」では、普段目にすることができない、アメリカの公園とページ市立図書館の様子を、映像を交えて紹介していただきました。かほく市の図書館に居ながらにしてアメリカの大自然を旅したような（ちょっと得をしたような）気持ちで、視野を広げることができました。

2部の「読書日記とわたし」では、とても細かく、長期に亘って記録されたもの、ユニークで楽しいアイデアの記録、その時の背景がしのばれるもの等々…。まさにみなさんの読書人生そのものであり、記録することは本当に大切だと思いました。

職場という社会から離れた今、図書館や友の会で、今までとは全く違った方々と接することも楽しいことです。



友の会 談話室

「裏日本」に秘められた歴史

11月から鉛色の空が続く日本海側は「裏日本」と呼ばれ、日本の影のように暗く表現されていました。でも、ちょっと前？大陸と向かい合うこの北陸は日本の玄関口「表日本」だったのです。

5世紀末、福井から北陸唯一の天皇が出ています。15代応神天皇の血を引く「26代継体天皇」が高志（こし=越）の国北陸から誕生していたのです。

しかし、この26代継体天皇が「羽咋近郊を含む口能登付近の出身だったのではないか」と説いた先生がいるそうです。確かに中能登町（旧鹿島町）に

は10代崇神天皇の皇子の「円墳」が、羽咋神社には11代垂仁天皇皇子の「前方後円墳」があり、どちらも「宮内庁」管理の一般の立ち入りを厳しく制限する立札があります。石川の宮内庁管理陵墓は他に前田家墓地があります。陵墓は高岡に14世紀のものがあり、福井にはありません。

歴史とは考古学的発掘や遺跡などから得られた断片的な情報を構築したものなので「歴史に定説はあるが正解はない」と言われています。新しい発掘で近年いくつもの定説が塗り替えられています。「正解がない・・・」なら、「私にも仮説が立てられるかな・・・」と思うと読書や調べもの、見学にも熱が入ります。これが歴史にはロマンがあるとされる所以なのでしょう。（河内 真弓）

友の会活動予定日

●リサイクル本収集

かほく市立中央図書館
階段下のリサイクル本入れで
常時受け付けています。

ご家庭で眠っている本を
寄付してください！

やってみたいと思う方は
ボランティアルームまで
おこしてください。



●応援ボランティア

【作業内容】本の書架整理、汚れ落とし、修理などを行います。

【開催日時】

■第1・3・5週 14:00～15:30

12月 2日(火)、12月 16日(火)
1月 6日(火)、1月 20日(火)
2月 3日(火)、2月 17日(火)
3月 3日(火)、17日(火)、31日(火)

■第2・4週 10:00～11:30

12月 9日(火)
1月 27日(火)
2月 10日(火)、2月 24日(火)
3月 10日(火)、3月 24日(火)

編集後記

今年度から友の会に入り、そして広報部会の編集にも携わり始めました。初めての体験にちょっとドキドキしながらも参加させていただいています。本が好きな人の集まりは、会話にもちょっとユーモアがあって聞いていて楽しく、友の会初心者の私にも温かい空間を共有させていただいています。

友の会だよりの編集もわからないながらもみなさんに教えていただき、第8号の発行までできました。人と人との繋がりを楽しく、感謝しながら今後も活動していきたいと思えます。（M.N）

現在の会員数 117名

入会のお申し込みは、中央図書館サービスカウンターにて随時受け付けております。